

大原小だより No14

美作市立大原小学校 令和7. 1. 7 (火) 発行 文責 金島久美子



主体・協働・挑戦の活動をFacebookにて発信しています。

主体

挑戦
よりよくなるため、よりよくなるために、考え実現する力

協働
共通の目的に向かって、他者と協力して活動する力

1 今年もよろしくお祈いします。主体・協働・挑戦



2 学期終業式の奇蹟！

校長からの話「大原小学校の今年の漢字は何だと思う？」
すると、さざなみのように、子どもの口から、「きょう、きょう、きょう・・・」という声。
「協働の協」

そうなんです。R6の漢字は校長独断で「協」だったのです。
校長はプレゼンの内容を他に言わなかったため、児童は知らないはずなのです。
児童が、自然にそれを感じてくれるくらい、友達とがんばれた!と思えたのだろう。とあとで教職員で結論づけました。教職員は皆、嬉しい顔をしていました。

協の漢字は「十」「力」で作られます。力が沢山沢山集まると「かなう」(叶う)という読み方もするそうです。

R6の大原小学校では、学年、クラス単位ではなく、気がついた人が、協働で「問い」を立ち上げ、解決に向かい努力し、実現、叶えることができました。
「協」: 子供たちに感謝!と奇蹟の起きた2学期終業式でした。

2 3 学期始業式に向けて 「3 学期は令和7年度の0 ゼロ学期」

3 学期がんばってほしいこと

①「なぜ?」

②ふりかえり 3つの心



子ども達は、上記の終業式エピソードのように、自分たちで直接体験し、考え、自分の意見をもって、アウトプットできるようになってきました。

そこで、3学期は、特に左の2つをがんばります。

未曾有の大震災、戦争等だれもが予測できないこれからの社会では、これまでのように誰かが示してくれる一つの「正解」があるわけではありません。正解が一つではないなか、今以上に多様な価値観の中から自分で判断して自分の意見を持つていくことが必要です。不安ですよ。ブレますよね。きっと、自分を強くするのは、その意見の「理由」(なぜ?)を自分の中に持てることではないかと思ひます。

私たち教員も、生活や授業の中で「なんでそう思ったの?」「どこがよかったの?」という問いをもっともっと増やしていきます。ご家庭でも沢山「問うて」ください。

